

高梁市図書館のイベント情報

健康増進セミナー

日時 3月30日(土)午後2時～3時
 場所 2階フロア奥
 定員 10人(要事前予約/参加費無料)

写経写仏の会

日時 3月31日(日)午前11時～午後0時30分
 場所 4階多目的室
 定員 30人(要事前予約/参加費無料)
 ※筆ペンまたはサインペンを持参してください。

おはなしたまてばこ おはなし会

日時 4月13日(土)午後3時～3時30分
 場所 4階多目的室
 申し込み 自由参加

巡回スケジュールの変更

利用しやすい移動図書館を目指し、4月から新しいスケジュールで運行します。
 「月に2回の楽しみを運ぶ図書館」を目標に、スタッフ一同皆さまのご利用をお待ちしています。



平成30年7月豪雨により被災した移動図書館車に代わりネスレ日本(株)の臨時車両で運行中

第1・3火曜日 (2日・16日)	川面小学校(16日のみ) 川面地域市民センター 津川小学校(16日のみ) 落合地域市民センター 津川地域市民センター	10:00～10:30 10:30～11:30 13:05～13:30 14:00～15:00 15:30～16:00
第1・3水曜日 (3日・17日)	有漢西小学校(17日のみ) 巨瀬小学校(17日のみ) 川上ふるさとプラザ 成羽長寿園 日名神楽公園	10:10～10:40 12:50～13:20 14:00～15:00 15:30～15:45 16:00～16:30
第1・3木曜日 (4日・18日)	福地小学校(18日のみ) やまびこカフェ 宇治小学校(18日のみ) 宇治地域市民センター 松原小学校(18日のみ)	10:15～10:40 11:15～12:15 13:00～13:30 14:30～15:30 16:00～16:20

※3月でイズミゆめタウンは廃止となります。4月から新しくコミュニティハウス湯野荘へ巡回します。

今月のおすすめ図書



高梁市図書館
浅野 貴美さん

【児童書】

給食アンサンブル 如月かずさ 著 東京美術 出版
 麻婆豆腐、黒糖パン、ミルメークなど、給食に関わる6人の中学生のストーリーがすがすがしい筆致で綴られています。好きな献立や苦手な献立など、給食にまつわる思い出があなたにもあると思います。私はこの本を読んで、当時のキラキラした一生懸命な気持ちを思い出しました。児童書ですが、大人の皆さんにも読んでいただきたいと思います。

☎高梁市図書館(22) 2912
 午前9時～午後9時 開館(年中無休) ホームページ



えほんの読み聞かせ～成羽図書館～

日時 4月13日(土)午前10時～11時
 内容 絵本、大型絵本、紙芝居など
 工作 折り紙でパズル遊び

☎成羽図書館(42) 2589
 午前9時～午後5時 開館(月曜日休館)

4月の移動図書館

第2・4火曜日 (9日・23日)	玉川地域市民センター 吹屋連絡所 ささゆり苑	10:00～11:00 14:15～15:15 15:45～16:15
第2・4水曜日 (10日・24日)	川上小学校 富家小学校 西山郵便局横 コミュニティハウス湯野荘	10:00～10:20 13:05～13:25 14:15～14:45 15:15～15:45
第2・4木曜日 (11日・25日)	巨瀬地域市民センター 玉川小学校 有漢東小学校	10:00～11:00 12:40～13:40 15:30～15:55
第2・4金曜日 (12日・26日)	中井小学校 高倉地域市民センター 中井地域市民センター なごみの森 落合小学校	10:15～10:45 12:30～13:00 13:30～14:00 14:40～15:10 15:30～16:00

高梁偉人列伝 ⑳



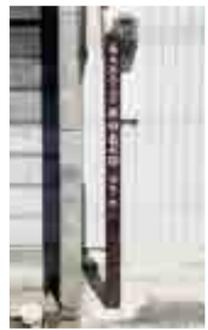
谷三兄弟の生家跡
(現在の高梁高校温知寮)

谷家の父・三治郎は、備中松山藩の旗奉行(戦場で旗指物を管理する)としてご存知でしょうか。
新選組隊士 谷三兄弟
 今年度最後の「幕末の偉人伝」では、谷三郎をはじめとする備中松山藩ゆかりの幕末志士を紹介します。

役職を務め、その3人の息子は「谷三兄弟」と呼ばれました。のちに「新選組の三兄弟」と称されたともいわれています。長男の三郎は近習(主君の近くに仕える役職)を務めていましたが、安政3(1856)年10月13日に御暇(藩士解雇)の咎を受け、備中松山を離れます。三郎と次男・万太郎は剣術・槍術に優れ、大坂で剣術道場を開きました。そこで新選組幹部の原田左之助と出会ったことをきっかけに新選組に入隊したと考えられています。その後、三男・昌武を呼び寄せ、三兄弟は揃って新選組隊士となりました。
 三兄弟は「池田屋襲撃事件」や大坂での「ぜんざいや襲撃事件」で手柄を立て、三郎は七番組組長を務めるなど幹部として新選組を支えましたが、元治2(1866)年4月1日に死亡しました。死因は病死といわれていますが、不審なところもあり真実は分かっていません。後に昌武は新選組局長近藤勇の養子となり、「近藤周平」を名乗りました。

天誅組 原田亀太郎
 原田亀太郎は新町の煙草商の家に生まれ、幼少より勉学に励み、備中松山藩主板倉勝静に才能を見込まれ士格に準じられました。その後、倉敷の森田節齋の門に入ると尊皇攘夷の思想に芽生えたとされています。
 亀太郎は日ごろから尊王攘夷を主張しますが、嘉永6(1853)年にアメリカ船が浦賀に来航し和親貿易を迫った際に、幕府がとった処置に憤慨します。文久3(1863)年、元侍従中山忠光が大和で拳兵した天誅組の乱に参戦し各地を転戦しますが敗戦し捕えられ、元治元(1864)年7月に京都の獄舎で同囚32人とともに処刑されました。
 亀太郎は生前、同志社大学の創設者である新島襄と親交があり、新島が明治13(1880)年にキリスト教の布教で高梁を訪れた際に亀太郎の実家に立ち寄っています。その時のことを「旧友の原田亀太郎の家を訪ねると、父が存命であり、私に対して昔話をしてくれた。私に出会えた

ことを、息子が帰ってきてくれたようだと喜んでくれた」としたためた手紙を妻の八重へ送っています。
それぞれの意思を貫き
 幕府が鳥羽伏見で敗戦すると、新選組は土方歳三を中心に東北各地を転戦します。その新選組は「後期新選組」と呼ばれ、備中松山藩ゆかりの人物も多く入隊し、函館戦争に参戦しています。
 幕末の動乱期に備中松山藩ゆかりの志士たちが、立場は異なれど国や幕府の将来を考え、命をかけてそれぞれの意思や主張を貫きとおし行動していたのです。
 猫城主「さんじゅーろー」の名前を耳にするとき、こうした志士たちが備中松山藩にいたことにも思いをめぐらせる機会になればと思います。



原田亀太郎生家跡
(新町)

幕末の偉人伝 ⑤ 備中松山藩ゆかりの幕末志士

文 三浦 孝章
 社会教育課文化財保護主事